



テクニカル・メッセージ

ワブコ（三輪）製チルトバルブ式ブレーキブースタの オーバーホール時の整備ポイントについて

ワブコ（三輪）製チルトバルブ式ブレーキブースタのオーバーホール時のポイントについてお知らせします。グリースは塗布部位によって、2種類のグリース（エア:バリエーショングリース、オイル:ニグルーブグリース）を使い分けることや、チルトバルブASSYの取外し時及び取付け時の順序など、注意すべきポイントをまとめましたので、定期点検整備時の参考として下さい。

1. 対象車両

- KC付 大型トラック FW型車（LシリーズABS無し車）
- KC付 大型トラック全車（テラビィシリーズ）
- KL付 大型トラック全車
- 大型路線バス（エアオーバブレーキ車）

2. 対象ブレーキブースタ品番（日野品番）

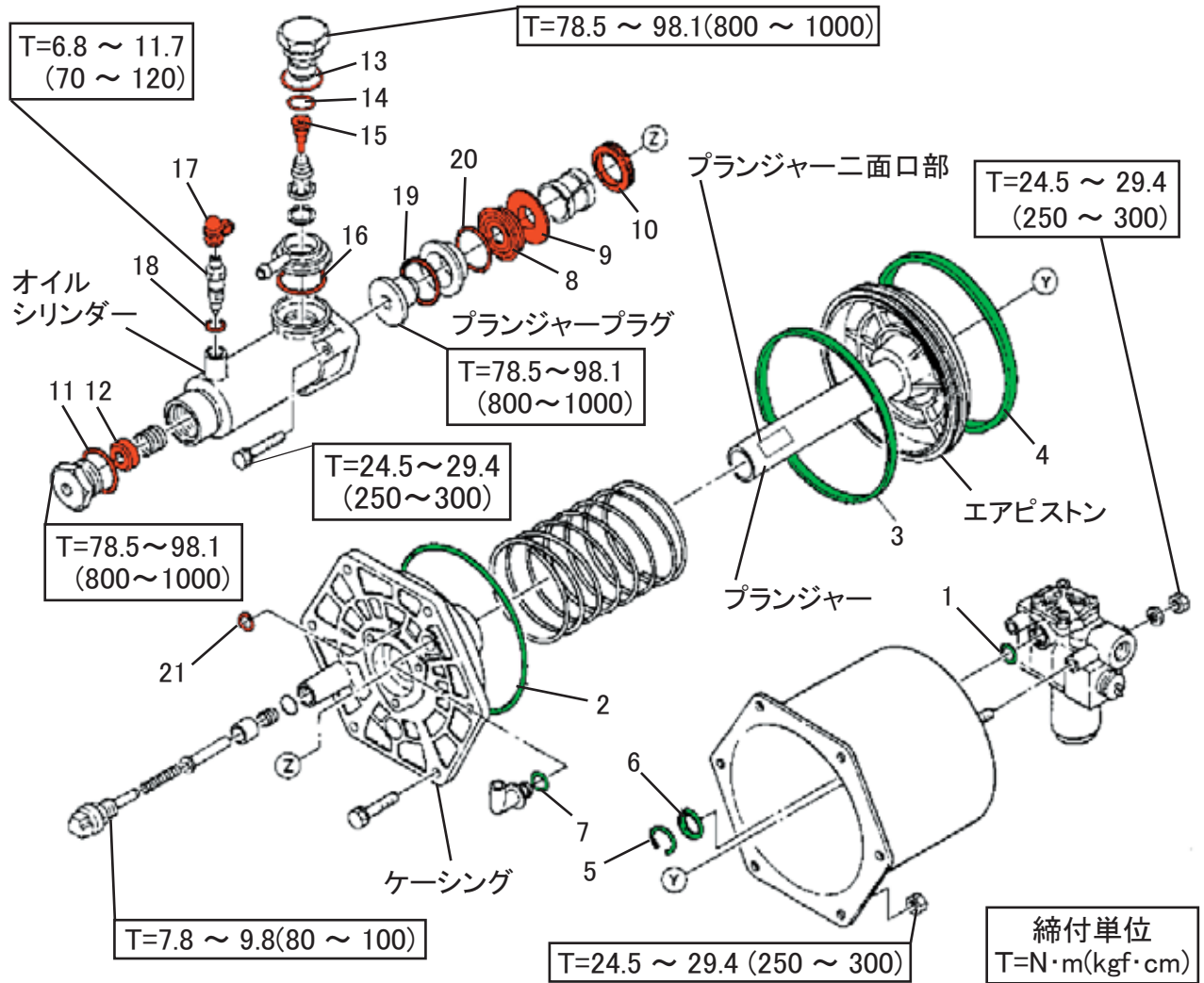
S446402765A	S446403215A	S446403512A
S446402755A	S446403205A	S446403522A
S446402745A	S446403333A	S446403492A
S446402775A	S446403384A	S446403561A
S446402785A	S446403424A	S446403571A
S446403124A	S446403374A	S446403581A
S446403135A	S446403414A	S446403591A
S446403144A	S446403394A	S446403601A
S446403155A	S446403434A	S446403611A
S446403164A	S446403234A	S446403444A
S446403175A	S446403404A	S446403454A
S446403184A	S446403364A	S446403463A
S446403195A	S446403484A	S446403473A

ブレーキブースタ本体に品番を表示してあります。

3. 整備のポイント

2/4 ~ 4/4 ページを参照下さい

1) ブレーキブースタ オーバーホール時のポイント 1



マーキングされている部品は、リペアキットに入っている部品です。

緑色 : エア側使用部品

1	O-リング
2	O-リング
3	エアピストンリング
4	エアピストンシール
5	クリップリング
6	ストッパー
7	O-リング

赤色 : オイル側使用部品

8	オイルシールカップ
9	バックアップリング
10	X-リング
11	O-リング
12	チェックバルブ
13	O-リング
14	O-リング
15	チルトバルブ
16	O-リング
17	キャップ
18	O-リング
19	O-リング
20	O-リング
21	シールリング

2) ブレーキブースタ オーバーホール時のポイント 2

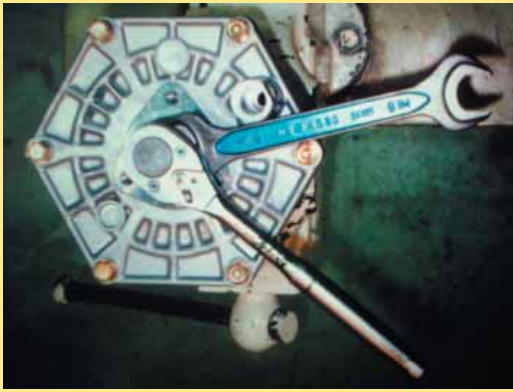
【組立時】
 <グリースの種類>
 ・バリエント：塗布箇所は緑色部分(エア用)
 ・ニグループ：塗布箇所は赤色部分(オイル用)

【分解、組立時】
 <チルトバルブASSY部>
 ・取外し時：オイルシリンダをケーシングから取り外す前に取り外すこと。
 ・組付け時：ケーシングにオイルシリンダを取付けてから組付けること。
※順序を間違えると破損します。

組立後 オイルの流出を確認のこと。図1参照(チルトバルブの開弁後を確認できます)

【組立時】
 オイルシリンダ内部にニグループグリースを薄く塗布。(発錆防止のため)

【分解、組立時】
 下の写真のようにプランジャの二面巾をスパナで固定



===== <<注意>> =====

【分解、組立時】
 ※プランジャプラグ取外し時及び組付け時、ハンマーの使用及びインパクトレンチ使用厳禁
 ・万が一、ハンマー又はインパクトレンチを使用した場合は、プランジャとエアピストンが緩んでしまっている可能性がありますので速やかにエアピストンSub Assyごと交換して下さい。
 ・プランジャプラグ組付け時にOリングが確実に組付けてあることを確認して下さい。
 ・緩みの確認：締付け方向へ49N・mのトルクを掛けた際にプランジャプラグが回る場合もエアピストンSub Assyごと交換して下さい。
 又、プランジャプラグ取り外し及び組付け時はエアを入れずに行ってください。

組立後 図1:チルトバルブ開弁の確認方法

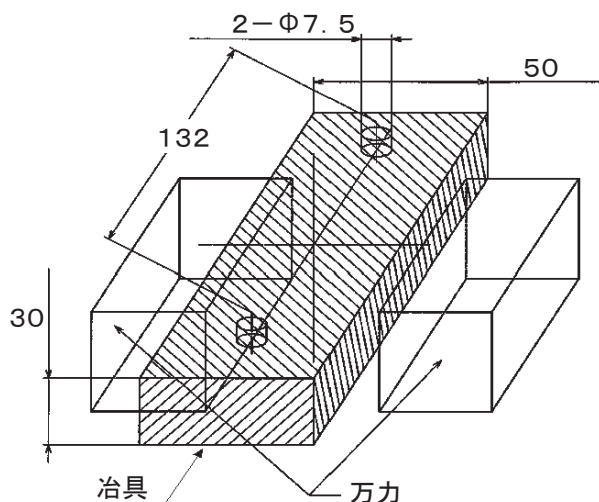
エアリーダスクリュを外した時、オイルがいきおいよく流れ出ることを確認

ブレーキブースタ固定方法

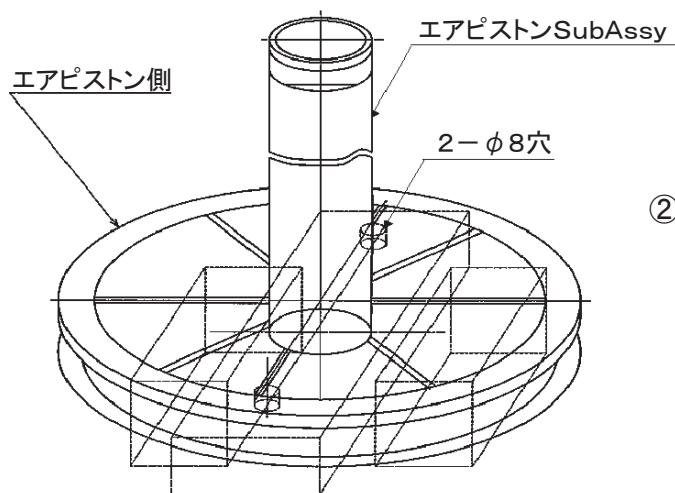
方法:ブレーキブースタに取付けたブラケットをバイスではさんで固定。

3) ブレーキブースタ オーバーホール時のポイント 3

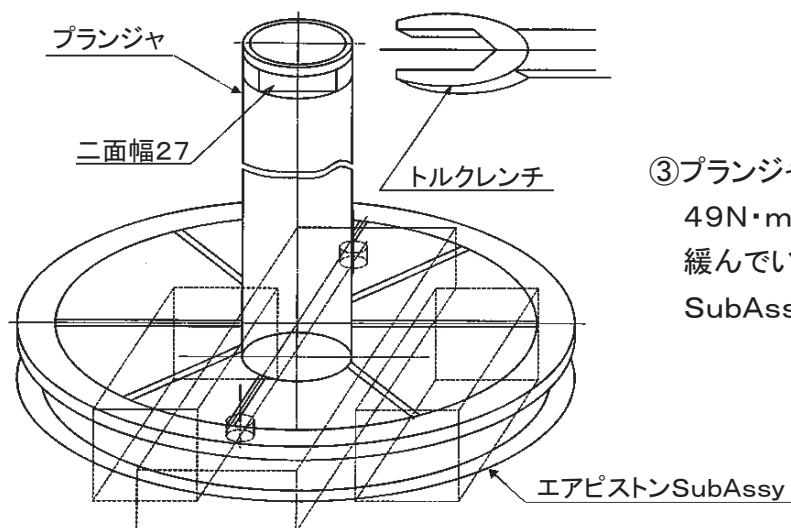
プランジャとピストン緩み確認方法



- ① 左図の様な治具を作成し、これを万力にくわえ、エアピストンSubAssyの回り止めの準備をして下さい。



- ② エアピストン側の2-φ8穴にピンが入るようにエアピストンSubAssyを治具の上にセットして下さい。



- ③ プランジャの二面幅27部にトルクレンチを掛け、49N・mでプランジャが回る場合はプランジャが緩んでいる可能性がありますので、エアピストンSubAssyごと交換して下さい。